

地域医療研修を振り返って

名古屋第一赤十字病院

約1ヵ月間の地域医療研修を終えるにあたり、まずは、指導にあたっていただいた先生方や病院職員の皆様に感謝致します。

新城という土地は縁もゆかりもなかったため、こちらに来る前は、不安でいっぱいでしたが、総合診療科の先生方はじめ病院職員の方々に親切にいただき、不安も吹き飛びました。

さて、この1か月の研修の中では普段の研修では経験できないようなことが多くありました。院内の業務では、初診外来や入院患者管理等をおもに行っていました。所属する病院では、主に初診の患者さんを診察する機会は救急外来にほぼ限られおり、その場限りの、一期一会の付き合いでした。したがって、その後症状が改善したかどうか知る術がありませんでした。こちらでは初診で診た患者さんも、経過を把握するため、後日再診という形でフォローすることができました。フォローした患者さんの中には、症状が改善してよくなる方もいれば、なかなか改善せず、治療に難渋する方もみえましたが、いずれにしても研修病院ではできなかったことなので経験できたことはとてもよかったですと思います。

また、この病院に来て、最も驚いたことは、その指導力だと思います。総合診療科では、研修医一人には、指導医が一人つき毎日振り返りを行ったり、その日の外来を先生方と振り返りを行いました。日々の診療に対してしっかり向き合い、課題を見つけ、それを克服していくことで身についたものは今後の診療において大きな糧となると思います。その他、各種勉強会も豊富にあり、そのなかでも活発にディスカッションが行われており、新しい知識を身につける場としてはとても刺激的なところでした。検査技師さんに超音波検査の指導をしていただいたり、MSWの方に介護保険の講義をしていただいたりと、職種を超えて指導して頂いたこともとても有意義でした。

そのほかにも、訪問看護や訪問リハビリに何度かつかせて頂き、病院を出て、患者さんの生活の場を実際に見ることで、病院での顔とはまた違った患者さんの顔を見ることができました。

まだまだ、書き足りないこともございますが、これ以上は、とりとめのない文章で非常に読みぐるしいと思いますのでこのあたりでやめておきたいと思います。

最後に、このような素晴らしい研修の機会を与えて頂いた皆様に再度お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。